

【主な出来事】

- 5日、政府は2017年予算案を承認。歳入は約328億レイ、歳出は約370億レイ。
- 8日、検事総長にハルンジェン検事総長代理が就任。
- 11日、トランスニストリア「大統領」選挙を実施。クラスノセルスキー「議会」議長が大差で当選。
- 13日、憲法裁判所は大統領選挙でのドンの当選を承認。大統領就任式は12月23日。

1. 内政

大統領選挙関連

▼2日、在外投票の投票権侵害の訴えを却下。

・最高裁判所は、在外モルドバ人団体からの投票用紙不足等による投票権侵害の訴えを却下。

▼6日、ドン次期大統領の大統領就任遅延を批判。

・記者会見でドン次期大統領は、右派勢力による大統領選挙の選挙違反に関する裁判所への提訴のために憲法裁判所が審理を行えず、就任が意図的に遅延させられており、その間に自分が絶対に認めないNATO連絡事務所のキシニョフ開設等を進めているとして批判。

▼14日、ドン新大統領就任式を23日に実施決定。

・議会は、ドン新大統領の就任式を12月23日午後1時より開催する旨発表。

▼14日、ドンの大統領就任式の日程確定を受けた発言。

・シャウ国防大臣を年末までに解任する。バセスク元ルーマニア大統領のモルドバ国籍を就任後直ちに剥奪する。ハルンジェン検事総長の任命とNATO連絡事務所のキシニョフ開設合意を破棄すべく努める。教会の選挙運動への関与が刑罰の対象とならないような手段を尽くすためモルドバ正教幹部と協議する。

憲法裁判所

▼6日、判事の構成・任期の変更を承認。

・政府の憲法裁判所の判事の構成・任期の変更提案を承認。
・判事を1名増やして7名とする。判事の指名は、議会2名、政府2名、最高司法評議会2名に加え、増加の1名は大統領が指名する。任期は6年から9年に延長し、再任はない。

▼13日、ドン候補の大統領当選を承認。

・サンドゥ候補側からの申し立てがあった大統領選挙決戦投票での選挙違反の申し立てを却下し、中央選管から提出のあったドン候補当選の選挙結果を承認。これにより、ドンの当選が正式に承認されることとなった。

▼選挙の改善点について提言。

・在外選挙での地政学的観点を考慮した投票所開設への見直し。教会の選挙運動への関与を排除するための罰則等を規定した法整備。TV等のメディアの公平性の確保。

政 府

▼6日、年金支給年齢の引き上げ。

・年金支給年齢を2026年までに段階的に男性は62歳から65歳、女性は57歳から62歳に引き上げることを閣議決定。2017年～2026年の間に毎年男性は4ヶ月、女性は6ヶ月を前年の支給年齢から引き上げる方法で実施。

議 会

▼15日、フィアト元首相の議席剥奪を可決。

・フィアト元首相に対する懲役9年の判決が控訴審で維持されたことに基づき、拘留中の同元首相の議席剥奪に関する決議を可決。フィアト元首相は自由民主党からの選出であり、同元首相の議席は同党のハンドラブラ元青年・スポーツ大臣に割り当てられる。

その他

▼8日、検事総長の任命

・7日、最高検事評議会は、ハルンジェン検事総長代理の検事総長への任命を提案する旨発表。同人は本年3月より検事総長代理を務めている。先般の改正により従来の議会による任命から大統領任命に変更されており、8日にティモフテ大統領は同人を検事総長に任命。

・ドン次期大統領は、自分の大統領就任を遅延させ、その間に違法に検事総長を任命したが、大統領就任後にはあらゆる手段を使って解任に持ち込むとコメント。

▼10日、ルプ民主党党首の党首辞任。

・民主党政治評議会において、ルプ同党党首が党首を辞任。同人は、24日に開催の同党党大会においても党首に立候補しない旨表明。

▼12日、自由党はシャウ国防相の支持取り消し。

・ギンブ自由党党首は、シャウ同党第一副議長の国防相としての支持を取り消し、フィリップ首相にシャウ国防相解任を要請する書簡を発出したと発表。大統領選挙でのギンブ同党党首の出馬等を巡る両者の確執が表面化したもの。

▼12日、ウサトゥイ「我らの党」党首の内閣改造等に関する発言。

・逮捕状が発出されているため滞在先のロシアから発信。
・プラホトニウクは、同人自身が首相となるため、本年末までに内閣改造を意図している。プラホトニウク内閣の連立与党は、現与党の枠組みではなく、民主党に加え、社会党及び共産党の一部議員と自由党の反ギンブ党首グループが

参加したものとなる見通し。

2. 外交

▼1日、フィリピン首相のブラッセル訪問(閣議報告)。

- ・最大の成果はモルドバに対するEUの信頼を回復。EUはモルドバの改革の推進を評価し、改革支援を約束。
- ・EUは45百万ユーロの予算支援と1億ユーロ(4千万ユーロは無償、6千万ユーロは有償)のマクロ金融支援を表明。

▼1～2日、モルドバ・中国政府間経済委員会の開催。

- ・モルドバ側より、道路インフラ、IT、エネルギー等の分野での協力、ワインを含む農産品輸出の促進につき関心を表明。モルドバ・中国FTA交渉の開始に関連した覚書に署名。

▼12日、ルーマニア議会選挙に対する反応。

- ・ドドン次期大統領は、「ルーマニアでも左派が躍進し、社民党が勝利したことを歓迎する。ルーマニア新政府がモルドバの独立と主権を尊重し、ルーマニア国内のモルドバとの統合主義勢力の動きを規制することを期待する」旨発言。

3. 経済

▼1日、政府は2016年予算修正案を承認。

- ・修正予算案は当初予算から歳入及び歳出共に3億2550万レイ増額し、財政赤字額(41億8280万レイ)に変更なし。
- ・修正予算案の歳入は296億4160万レイ(14億82百万ドル)、歳出は338億2440万レイ(16億91百万ドル)。

▼5日、政府は2017年予算案を承認。

- ・閣議において2017年予算案が承認された。
- ・歳入は328億39百万レイ(16.4億ドル)、歳出は369億94百万レイ(18.4億ドル)、財政赤字は41億55百万レイ。
- ・予算案の前提となる政府の経済見通しは、2017年のGDPは3%増の1428億レイ(71.4億ドル)、インフレ率が4.4%、為替は20.4レイ＝1米ドル。

▼7日、中銀は外貨準備高の増加を発表。

- ・中銀は11月末現在の外貨準備高が21億26百万ドルとなり、対前年同期比で3億7千万ドル増加したと発表。増加の主な理由は、IMF理事会の対モルドバ支援プログラム承認に伴うIMFからの送金を受けたことによるもの。

▼2016年及び2017年の経済指標見通し。

- ・世銀の支援を受けているモルドバ経済分析機関MEGAが経済指標の予測値を発表。
- ・2016年は、GDP:2.0～3.4%増、農業生産:15.4～19.4%増、工業生産:0.5～1.6%増、建設:12.5～13.4%減、給与:1.7～1.9%増。
- ・2017年は、GDP:3.6～5.5%増、農業生産:3.3～5.0%増、工業生産:5.2～6.1%増、建設:4.0～5.1%増、給与:4.0～4.8%増。

経済協力

▼ルーマニア政府による母子病院支援

- ・7日、ルーマニア政府からの450万レイの支援による母子病院整備の引き渡し式が開催された。ルーマニア政府の母

子病院に対する支援は、2014年から開始されており、これまで総額で250万ユーロが供与されている。

▼EIB等によるガスパイプライン建設融資。

- ・ウンゲニ・キシニョフ間のガスパイプライン建設にEIBが41百万ユーロの融資を年内に実施予定。EIBの融資実行を受けてEUは10百万ユーロの無償支援を計画。引き続き、EUから20百万ユーロの無償支援、ERRDから41百万ユーロの融資が計画されている。ガスパイプライン建設プロジェクトの工費は113百万ユーロを見込む。

4. トランスニストリア

▼7日、モルドバ大統領選挙結果を受けたクラスノセルスキー「議会」議長発言。

- ・所謂親露派のドドンがモルドバ大統領選挙で勝利したが、モルドバとの関係改善に寄与することはない。モルドバでは権限は大統領ではなく、親欧州派が多数の議会にある。「ト」の進むべき道は独立とその後のロシア編入である。

▼8日、駐留ロシア軍に関するシェフチェク「大統領」発言。

- ・近隣国が「ト」駐留ロシア軍が撤退するとの噂を広めているが、「ト」及びロシアは撤退について考えたことなどなく、同軍は「ト」の平和維持を保障するものである。

▼11日、「大統領」選挙が実施され、クラスノセルスキー「議会」議長が当選。

- ・11日に実施された「大統領」選挙は、シェリフ社の政治・経済での影響力の抑制を図るシェフチェク現「大統領」と同社の支援を受けたクラスノセルスキー現「議会」議長との争いであったが、「ク」議長が62.03%(157,410票)を得票し、「シェ」現「大統領」は27.38%(8,012票)に止まり、「ク」が圧勝する形で当選。

▼14日、「ト」議長にスケルバ副議長を選出。

- ・「大統領」にクラスノセルスキー「議会」議長が当選したことに伴い、スケルバ副議長を「議会」議長に選出。

5. その他の情勢

ガガウズ自治区

▼4日、人民会議議員選挙の第2回投票の実施。

- ・35議席の中で11月20日の投票で17議席が当選(投票の過半数を得票)し、残り18議席について投票を実施。18選挙区中で15議席が選出され、残り3選挙区は選挙成立の要件(1選挙区は1/3以上の投票率に達せず、2選挙区は2週間後に上位2名の決選投票)に達せず、再選挙となった。
- ・ドドン次期大統領は、第2回投票の当選者のうち10名が社会党または同党支持者であり、無所属を含めロシアとの友好促進が支持されたと述べた。

6. 各種統計

▼2016年の主要農産物生産。

- ・モルドバ農業・食品工業省は、本年は豊作と発表。
- ・主要農産物の生産高:小麦71～79万トン、トウモロコシ160万トン、葡萄(ワイン用)36万トン、葡萄(食用)7万トン。

(了)